

修学旅行記

発行 第3学年

小笠原村立母島中学校 令和2年10月13日 発行 第1号

第1日目 内地への移動 船ははじま丸&おがさわら丸



中学校3年生が修学旅行に出発しました。本日、午前12時に、ははじま丸に乗船し、父島を経由しておがさわら丸でいざ内地へと向かっています。今年度は、新型コロナウイルス対策として、距離をとって、保護者と中学校教員のみでミニ出発式を行い、見送りをしました。いよいよ、待ちに待った修学旅行がはじまりました！！



ははじま丸出港時には、港にいたたくさんの島民から声をかけてもらいました。母島島民のみなさま、ありがとうございました。無事に帰って来たいと思います。



今年度は、父島の小笠原中学校と合同で修学旅行に行くため、おがさわら丸出港前に対面式を行いました。

おがさわら丸では、小笠原の名物、ポニブルーへの見送りダイブがあり、内地へと向かう気持ちが高まったようです。



本来は、今年度5月に予定されていた修学旅行でしたが、新型コロナウイルスの流行に伴い、10月に延期になりました。その分、事前の学習に取り組む時間が増え、奈良・京都の関西方面と都内散策、上級学校調べなどに丁寧に取り組むことができました。待ちに待った修学旅行を通して、たくさんのことを実地に学び、義務教育最後の11泊12日間の宿泊を伴う行事を成功させてほしいと思います。また、総合的な学習の時間では、「社会的な見方・考え方」「造形的な見方・考え方」も踏まえて、奈良や京都、東京の地理や歴史、文化芸術についての理解を深めました。

この「修学旅行記」では、修学旅行の様子を随時お伝えしていきたいです。

